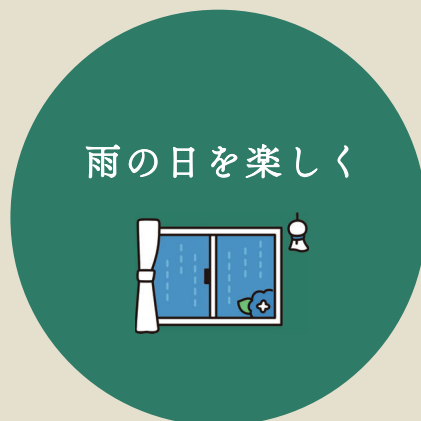


あめにわ

あなたのくらしに 雨庭 を

2030年までに2030の雨庭整備を目指して、雨庭認定をはじめます



あめにわ
rain garden



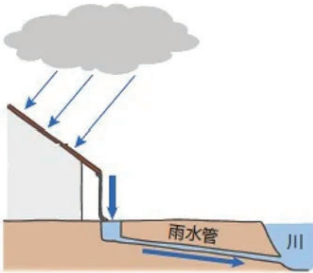
くまもと雨庭パートナーシップ
kumamoto ameniwa partnership

雨庭とは？

「雨水を排水路に直接放流することなく、ゆっくりと地中に浸透あるいは流出を遅らせる構造を持つよう人為的に改変された空間」を指し、治水（流出抑制）や地下水かん養等に寄与することを目的とするものです

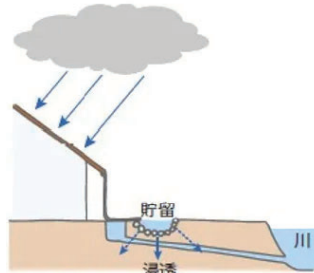


従来の雨水



屋根やアスファルトなどに降った雨水は、雨樋や排水管を通して水路や河川へ、直接すみやかに排出されることになっています。豪雨の際には河川に多くの雨が集中して流れ込み、一気に河川の水量が増加してしまいます。

雨庭のある雨水



屋根などに降った雨水を取り入れ、雨庭に一時的に溜めたり、土壌に浸透させることで河川への流出を抑えます。また、流出のスピードを遅らせることで洪水を軽減することができます。



期待される効果

雨庭をつくることで、洪水の抑制、地下水かん養、生物多様性の保全、ヒートアイランド現象の緩和、潤いのあるまちづくりなど、安全で美しい熊本づくりに貢献することができます



洪水の抑制

降った雨を地面に浸透させることで、雨水が一気に河川に流れ込んで発生する洪水を抑制します。ただ、雨庭一つだけでは治水効果は発揮することができません。みんなで協力して流域のさまざまな場所につくっていくことが大切です。

地下水かん養

雨水を地下に浸透させるため、地下水かん養効果が期待されます。降った雨は地中にしみ込み、湧水となります。健全な水循環の形成にも効果的です。

生物多様性の保全

生き物や在来植物の生息場所となり、生物多様性を保全します。

ヒートアイランド現象の緩和

雨庭から蒸発する水によって、ヒートアイランド現象を緩和します

潤いのあるまち

緑豊かな庭が増え、潤いのあるまちづくりにつながります。

雨庭認定について

くまもと雨庭パートナーシップでは、より多くの人に雨庭を知ってもらい、取り組みを広げるために雨庭認定をはじめます。2030年までに2030箇所の雨庭を整備することを目指しています。認定された雨庭はホームページで紹介します。また、毎年、認定された雨庭の中から優れた雨庭を選出し、表彰を行います。認定制度についてはQRコードより、ホームページをご覧ください。



雨庭を作りたい方へ



雨庭に興味を持ち、作りたい方は、ホームページをご覧ください。また、くまもと雨庭パートナーシップでは、雨庭を作りたい方のサポートを行っています。

雨庭パートナーズ



雨庭パートナーズ（くまもと雨庭パートナーシップの活動に参画・共同する方）の募集も行っています。雨庭パートナーズとなり、一緒に雨庭を広めていきましょう。

